

- 今月の紙面**
- 2面 2002年度就職結果 日野原重明氏が講演
 - 3面 新月祭2003開催へ 「KWANGAKU.NET」サービスタート
 - 4面 関関戦に向けて 各部の取り組み
 - 5面 今、ファイターズが熱い
 - 6面 K. G. People
 - 7面 上ヶ原周辺 オススメの店
 - 8面 OBインタビュー 「笑い飯」中西哲夫さん



発行 関西学院大学新聞総部
 西宮市上ヶ原1番町1-155
 関西学院大学新学生会館3F
 電話(0798)51-1181☎662-0891
 三田支局 三田市学園二丁目1番地 ☎669-1337

扉の一言
 「いやなことはその日のうちに忘れろ。自分でどうにもならないのにクヨクヨするのは阿呆だ。」
 田中角栄

2003年5月26日 第748号

新月祭2002 幻のイベントが実現

徳山昌守さん講演会「道険笑歩」



熱弁する徳山昌守さん

WBBCスーパーフライ級世界チャンピオン徳山昌守さんを招いての講演会が4月17日、神戸三田キャンパスで開かれた。講演のタイトルは「道険笑歩」〜チャンピオンが語るボクシングと生き様〜。井垣伸子総合政策学部教授との対談形式で、徳山さんにこれまでのボクシング人生について語ってもらった。ちなみに「道険笑歩」とは「道は険しくとも笑って歩こう」という意味で、徳山さんがモットーとしている言葉である。

開演後、まずは徳山さんのこれまでの活躍をまとめたVTRを鑑賞、それから本人の登場となった。徳山さんが「ボクシングのことが忘れられなくなつてプロの道へ。ただそこには、「天才と呼ばれた先輩がプロで無名に終わっているの、僕が行って通うのか?」という葛藤もあった。しかし「やらないで後悔するよりやってみて後悔する方がい」と思い立ち、家族の反対を押し切って東京を離れ、単身大阪へ。トレーナーに恵まれたおかげで、デビュー戦KO勝ちという華々しいスタートを切った。

この講演会は昨年の大学祭で中止になったのを、今回総合政策学部が実現させたもの。徳山さんをひと目見ようと多くの学生が駆けつけ、会場となったII号館201号教室は開演を待たずして超満員に。モニターを設けた別室も含めると、約650人がつめかけるといふ大盛況ぶりだった。

世界タイトル初挑戦を前に徳山さんは一方的に不利だったが、試合の資金を一生懸命に集めてくれたスタッフのために負けられないと決意。「生まれて初めて死に物狂いで猛練習した」という徳山さんは、試合で終始ベアスを握りチャンピオンベルトを奪取する。そして、それから6度連続のタイトル防衛を果たすこととなる。

「前日は緊張して一睡もできなかった」という徳山さんだったが、時間が経つにつれて着々と自分のペースへと持ち込んでいき、講演終盤には学生たちをすっかり釘付けにしていた。「僕は毎朝12キロのロードワークをしているんですが、何のためかという心のスタミナをつけるためなんですよ」、「世界戦の相手は皆強く技術の差はないんですが、精神が最後にモノをいう。破竹の勢いで次々と勝ち進んでいく。」

2004年度より年間授業スケジュールが改定されることとなった。主な変更点として、秋学期の授業期間終了後、従来なら入学試験、その後、来年度以降は1月中旬に定期試験が行われる。このことに応じて、夏季休暇期間、また秋学期授業開始日においても、若干の変更がなされる。教務課によると、今回の改定では、ハッピーマンデー法により不足分が出る月曜日を含み、各曜日の授業日数を確保すること、また、各企業の採用が年々早期化する傾向にあることから、秋学期定期試験を前倒しすることで、就職活動をする学生の便宜を図るなどの狙いがあるとのこと。

【大学・学部】

行 事	現行(2003年度)	改定後(2004年度以降)
春学期入学式	4月3日	4月2日
春学期授業開始	4月9日	4月8日
春学期授業終了	7月12日	7月12日
春学期定期試験・中間試験	7月14日~28日	7月14日~28日
追試験	8月1日~5日	8月1日~3日
夏期休暇	8月6日~9月30日	8月4日~9月24日
春学期卒業式	9月30日	9月20日
秋学期入学式	10月1日	9月21日
秋学期授業開始	10月2日	9月25日
冬期休暇前授業終了	12月22日	12月22日
冬期休暇	12月23日~1月7日	12月23日~1月6日
冬期休暇明け授業開始	1月8日	1月7日
秋学期授業終了	1月26日	1月13日
秋学期定期試験	2月12日~25日	1月15日~28日
秋学期追試験	3月1日~3日	2月12日~14日
秋学期卒業式	3月24日	3月18日
春学期補講	7月12日	7月13日
秋学期補講	1月24日	1月14日

年間授業スケジュール改定へ

2004年度から

告知! 新聞総部がホームページを開設します。
<http://member.kwangaku.net/kgpress/>



さあ 今すぐアクセス!
 今回の発行にあわせて、新聞総部はホームページを開設することになりました。これからは、インターネットでも「関西学院大学新聞」の情報をお届けしていきたいと、一考考えております。

6総部1自治会 ホームページがリニューアル
 6総部1自治会協議のホームページが5月7日、大幅にリニューアルした。

今号の発行にあわせて、新聞総部はホームページを開設もお届けしていく予定です。また、新聞総部はホームページを開設するにあたって、「関西学院大学新聞」の情報をお届けしていきたいと、一考考えております。

6総部1自治会協議のホームページが5月7日、大幅にリニューアルした。6総部1自治会協議とは、学生会公認団体の代表者が集まり、学生会本部である全学執行委員会の再建に向けて取り組んでいる会議。ホームページでは、学生会ならびに公認団体の紹介、そしてこれから活動の随時報告していく。

4月3日、私は関学に入学生した。高校の時と同様、新しい環境に期待を膨らませながら上ヶ原キャンパスに足を踏み入れた。だが、入学式当日は大混雑でなかなか体育館までたどり着けなかった。さらに式ははるか前方で行われていて、何が何だかわからないまま終わってしまった。式が終わり外に出るとサークル、クラブの勧誘の嵐が待っていた。大学の勧誘はすごいと前々から聞いてはいたが、実際のところ、想像以上にかわいらしく、強引に言い寄ってくる部員の姿に驚いた。その後、いろいろサークルをまわったが、興味を湧かせ、大学生生活を充実させてくれると納得できるサークルにはなかなか出会えなかった。そうして、大学とは高校までの世界と全く異なるところだと徐々に分かってきた。視野が広がり、今まで当然と思っていたことを改めて考えさせられたような場面にも何度か出会った。高校までと同じ考え方でうまくいかないのだ。一方で、大学生には無限の可能性があり、積極的になれば、何でもできるという面もある。ボランティア活動をするのもよし、課外活動のため頑張るのもよし、選択肢はたくさん用意されている。しかし、何もしなければ無駄な4年間となるだろう。先日、19歳になった。これといった実感もなく、また年をとってしまったという感じだ。考えてみると、19という年齢はとても微妙な年だ。判断力もあり、責任ある行動もできるのに未成年扱いだからである。だが一方で、もう子供のように甘えは許されぬ。そういうことを自覚しつつ、この1年間を過ごしたい。



自身の生き方を伝授

—日野原重明氏 講演—

春季キリスト教週間のプログラムとして、日野原重明氏の講演会が5月13日に中央講堂で行われた。日野原氏は本学旧制中学位を卒業し、120万部を突破した「生き方上手」の著者として有名な医師で、91歳となった今でも現役で活動を続けている。「ビジョンと実践のエネルギー源としてのspirit」と題された今回の講演には、学生だけでなくOBも大勢詰めかけ、会場は超満員となった。

講演はまず自身が学生だった頃の関学について語り、ロゴマークである三日月について「とても刺激的だった」と話した。また父親のことも触れた。父親も同じく関学出身であり、「父を通して関学のスピリットが伝わった」と自身の関学のルーツを示した。講演でまず強調されたのは、父親が自分に残した言葉とごっこ「Vision」「Venture」、



終始立ったまま講演を続けた日野原氏

「Victory」と頭文字にVがつく「3つのV」。夢を描くという意味で「Vision」、そしてその夢を実現するために勇気ある行動を、という意味で「Venture」、さらにその行動によってたらされる「Victory」という意味である。そして「Victory」については、関学の三日月と対比させ、自分自身が真田を描けなくても、つまり勝利を勝ち取れなくても、後世が実現するために三日月を描く、つまり一部でも貢献していくべきだと主張した。

最後に人生について、与えられたもので、どのように投げ返すかが重要と語った。そして学生たちに対して、誰のために自分を使うかを考えて、社会に出て走り出すようにしてほしいと語った。

「就活で悩んでいる人へ」
就職課では5月26日から30日まで、「K.Gハブスクエア大阪」で学内企業説明会を行なった。また6月以降も上ヶ原キャンパスで行われる予定。「企業はたくさんあるので、可能な限り色々な情報を紹介したい。企業との『出会いの場』を提供していくので、粘り強く頑張ってください」と就職課主任の磯辺さん。「就職する企業に出会うのが遅くなくても、強い意志さえあれば必ず就職できる」とエールを送った。

世界で多くの死者を出しているSARS（重症急性呼吸器症候群）の影響を重く見た大学は、4月4日に行われた大学評議会で、春学期（5月中旬～8月下旬）に予定されていたカナダのマウント・アリソン大学への中期英語留学を中止することを決定した。これによって、20人の学生が留学を断念することになる。受け入れ側のマウント・アリソン大学の周辺ではSARSは発生しておらず、授業も普段どおりに行われている。しかし、現地へ行くにはSARS感染が集中しているトロントに泊るなければならないこと、マウント・アリソン大学に近いプリンスエドワードアイランドでも感染者が出てくること、加えて中止した場合はの参加予定学生への影響を、最小限に抑えることを理由に中止が決定された。

「これから就職を考える人へ」
今年度より、3回生を対象とした「第1回就職ガイダンス」が夏休み前に行われる。上ヶ原では6月28日、神戸三田では7月1日に実施され、主に夏休みの過ごし方について話を聞く。「夏休みは、ゆとりと自分を見つめ直し、自分の適性を考える最後の期間。有意義に過ごして、しっかりと自己分析をしてほしい」と磯辺さん。多くの学生に参加を呼びかけている。そのほか就職課では、就職活動を終えた4回生が1回生のゼミに話をしに行く「先輩懇談会」を企画したり、インターンシップ制度の本格導入に向けて検討を行ったりしている。

就職者の多い企業 (BEST 10)

1. 日本生命保険 43人 (男 3、女 40)
2. 三井住友海上保険 32人 (男 7、女 25)
3. 第一生命保険 24人 (男 4、女 20)
3. 三井住友銀行 24人 (男 8、女 16)
3. UFJ銀行 24人 (男 2、女 22)
6. 損害保険ジャパン 23人 (男 2、女 21)
7. 大和銀行 17人 (男 3、女 14)
7. 富士通 17人 (男 13、女 4)
9. 国家公務員 16人 (男 8、女 8)
10. 住友信託銀行 15人 (男 1、女 14)
10. 日立製作所 15人 (男 9、女 6)

「まあまあ満足」36.7%、「満足」75.5%で、「満足」の比率が極端に下がっている。森田課長は「就職戦線の厳しさの結果を真剣に受け止めなければならぬ」と語った。また内定をもらいながら、留年した者が82名いたことについて、「人気の企業にやっ

と内定をもらった人もいたので、残念。学生の身分である勉強もしっかりとやってほしい」と注意を促していた。

「就活で悩んでいる人へ」
就職課では5月26日から30日まで、「K.Gハブスクエア大阪」で学内企業説明会を行なった。また6月以降も上ヶ原キャンパスで行われる予定。「企業はたくさんあるので、可能な限り色々な情報を紹介したい。企業との『出会いの場』を提供していくので、粘り強く頑張ってください」と就職課主任の磯辺さん。「就職する企業に出会うのが遅くなくても、強い意志さえあれば必ず就職できる」とエールを送った。

就職決定率 94.3%

2002年度就職状況

「長引く不況の中、関学学生は十分健闘しているのではなか」と就職課の森田課長。発表された。まず、就職決定率は94.3%で2001年度を0.6ポイント上回った。男女別に見ると、男子95.0%（200.8P）、女子93.6%（200.4P）。業種比率では、男子は製造業が、女子では金融・保険業がトップであった。

JT B、日本航空、トヨタ自動車、電通、講談社などの人気企業にも、多数就職が決定した。関学が健闘している理由としては、学生の実力が挙げられる。「企業はもはや、縁故などの理由で学生を取らない。各人の能力が認められた結果だろう」と就職課では分析している。

本社所在地の地域比率を見ても、男女とも東京が1位ではあるが、昨年度に比べ、男子で4.4P、女子では4.1P減少し、それぞれ42.3%、36.6%となっている。これに連動してか、大企業への就職比率も微減して、男子59.2%（22.1P）、女子53.8%（22.8P）となっている。

【内定はもらったが...】
内定企業への満足度は、「満足」と「まあまあ満足」を合わせると、96.5%。例年同様、高い水準を維持している。しかし、その内訳は「満足」59.7%（29.3P）、「まあまあ満足」36.7%（75.5P）で、「満足」の比率が極端に下がっている。森田課長は「就職戦線の厳しさの結果を真剣に受け止めなければならぬ」と語った。また内定をもらいながら、留年した者が82名いたことについて、「人気の企業にやっ

「これから就職を考える人へ」
今年度より、3回生を対象とした「第1回就職ガイダンス」が夏休み前に行われる。上ヶ原では6月28日、神戸三田では7月1日に実施され、主に夏休みの過ごし方について話を聞く。「夏休みは、ゆとりと自分を見つめ直し、自分の適性を考える最後の期間。有意義に過ごして、しっかりと自己分析をしてほしい」と磯辺さん。多くの学生に参加を呼びかけている。そのほか就職課では、就職活動を終えた4回生が1回生のゼミに話をしに行く「先輩懇談会」を企画したり、インターンシップ制度の本格導入に向けて検討を行ったりしている。

印刷・製本サービス

講義用配布資料の準備でお困りの教員の方
教材制作いたします。

- ・ 頁数 60頁程度あれば簡易製本出来ます。
- ・ 墨 1色刷りで作成します。

当方で印刷し書籍部で販売しますので費用も手間もかかりません。

3月～4月完成品

- ★『英語を英語らしく読む』
- ★『新時代の労働と地域経済』
- ★『ノースサイド直前の健康文化論』
- ★『フランス哲学・思想講読演習』
- ★『フランス芸術・文化講読演習』
- その他

★『物質の構造とゆらぎ』
- ★『ライフサイエンス入門』
- ★『生命分子操作実験』
- ★『お茶と生産』
- ★『ソーシャルワーカーのためのリサーチ・ワークブック』



ラクロス部が 体育会に昇格

体育会準会員だったラクロスクラブが3月19日、正式に体育会ラクロス部に昇格することが決定した。ラクロス部は昨年関西一部リーグで男女共に準優勝を果たし、男子は全日本選手権でベスト8に入ると、近年その活躍が目覚ましい。男子主将の山田直輝さん(商4)はこの昇格について「最高に喜ばしい気持ちです。今までの先輩方の努力の証明であり、全ての始まりだと思っています。リーグ戦で勝って初めて正式会員として認められると思うので、これからの活動をさらに頑張りたいです」と話し、さらに「昇格後、関学のために戦おうという意識が芽生えた。これから他の部と同じ立場なんだ、関学体育会の一員なんだ」と一種のプライドも発生したと喜びを話している。これから目標については、「ラクロスと目には関学を定着させたい。そして全日本選手権の決勝の舞台である江戸川陸上競技場で『空の翼』を大合唱したい」と熱い思いを語ってくれた。

考古学研究会がこの度文化会に加入することが決まった。考古学研究会は昨年11月に文化総部の加入を申請した。4月11日の部長会で議決が取り、近世の大名らが掘ったとされる刻印石についての調査も行っている。

考古学研究会 文化総部へ

考古学研究会がこの度文化会に加入することが決まった。考古学研究会は昨年11月に文化総部の加入を申請した。4月11日の部長会で議決が取り、近世の大名らが掘ったとされる刻印石についての調査も行っている。今回の文化総部への加入申請は、発掘作業において教育委員会と関わり、また歴史的遺物を扱うに非公開団体だったことに懸念を示したからとのこと。公認団体として、これからの活動に大いに期待するところだ。

勝利を我が手に!! 関関戦の勇者たち

昨年の総合関関戦は惜しくも16勝17敗で敗れた関学。今年は、関学で雪辱を晴らすことができるのか?そこで我々新聞総部では、特に注目のべき部にスポットを当て、意気込みを語ってもらった。



前田 貴之 さん (商3)

器械体操部

関関戦が関学で開催される年は、たくさんOB・OGが応援にかけてくれるので少し緊張しますね。練習の他にも、今年は事前の準備や手



中田 博徳 さん (経3)

射撃部

去年は、(総合成績が)16対17で負けてしまったので、「うちが勝つていれば関大に勝つたのにな」という思いがある。射撃部としては、6連敗中。



渡辺 恵史 さん (経4)

馬術部

去年は完敗でした。関西大会では6連覇中で、関西に敵はいない「鉄板の関学」といわれる関学馬術部なので、去年の敗退はとてむやましい。そのくやしさをばねに、がんばりたいです。馬術は地の利

本番はレギュラー3人の合計点で勝敗が決まります。次の関関戦は、勝ちますよ。射撃が一番大事なものは、己にだけ勝てるかです。個人・団体どちらも勝ちたいところです。



佐々木和樹 さん (商2)

バドミントン部

今年は前4回生が抜けたという状況です。しかし、関西リーグが6部まである中、関学は女子が2部に昇格したのでその波にのってOBの期待を裏切らないために精一杯戦うつもりです。また、ホームグラウンドで行われるという点では、関学の小フロアは、屋上が普通の体育館よりも低いので、いつもそこで練習している僕らにとっては少し有利だと思います。そういった意味でも負けられませんね。

関関戦日程

6月19日

場所	時間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
中央芝生								←開会式→					
メイングラウンド									←硬式野球→				
体育館大フロア									←ハンドボール(男子)→				
体育館小フロア										←女子バレー→			
体育館レスリング場										←レスリング→			
体育館卓球場										←卓球→			
サッカーグラウンド										←陸上ホッケー→			
その他	ゴルフ	7:00~16:00 (千川カントリークラブ)											

6月20日

場所	時間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
体育館大フロア													←バスケットボール(男女)→
体育館小フロア													←バドミントン→
馬場													←馬術→
サッカーグラウンド													←ラクロス(男女)→
その他	自動車	9:00~14:00 (名阪スポーツランドEコース)											

6月21日

場所	時間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
中央芝生													←閉会式→
メイングラウンド													←軟式野球→
体育館大フロア													←ハンドボール(女子)→
体育館小フロア													←拳法→
体育館113体操場													←剣道→
体育館プール													←空手道→
体育館柔道場													←フェンシング→
合気道場													←柔道→
硬式テニス場													←水上競技→
相撲場													←柔道→
洋弓場													←合気道→
拳法場													←古武道→
射撃場													←庭球(男女)→
その他	アメリカンフットボール	13:00~16:00 (王子陸上競技場)											
	ラグビー	12:15~14:00 (花園球技場)											

新連載 クラブ・サークル生現場

Vol.1 人形劇団“テク”

人形劇と聞いて何を思い浮かべるだろう。中には、人形劇って子供が観るものと思っている人がいるのでは?実は人形劇とは、子供から大人までが楽しめる一大エンターテインメントなのだ。

「今回もまた公演ギリギリに仕上がるのか。まっ、いつものことか」。5月公演に向けて準備に追われている人形劇団「テク」。「今回もいいものを作ろう」と代表の西山加奈子さん(文2)は心に誓った。

彼らはこれまで工夫に満ち溢れた公演を行ってきた。しかも人形劇だけでなく、紙芝居も試みてきた。紙芝居も試みてきた。昨年秋に行った公演の様子を聞いてみた。

それは声屋の「ラモールあしや」で行われた公演。対象者は小学校低学年までの子供たちだ。こ



の時は紙芝居することに決めた。そこで彼らは様々な工夫を施した。

まず、歌のお兄さん、お姉さんの登場だ。「ジャカジャカじゃんけん」をして、バルーンアートやキラキラやうさぎをプレゼント。紙芝居をする前に子供たちと触れ合い、関心をグッとつかんだ。そして紙芝居もただの絵だけで話を進めるのはやめた。絵の中の

オオカミが動き、家の絵も吹き飛ばす。絵に動きをつけることで、子供たちはほとんど話の中に吸い込まれてゆく。「子供は動きがあったほうが喜ぶのではないか」という予想は的中した。

他にも効果音を鳴らすなどした。その結果、7人がかりで1つの話を演じることになった。狭いスペースの中、メンバーたちは奮闘した。

公演も終わり、ホッと一安心。もちろん最後には、子供たちの満面の笑みを見ることができた。

毎回、個性的なメンバーが知恵を振り絞って仕上げる公演は、人形、紙芝居、ストーリーにいたるまですべてがオリジナル。三体の人形が登場する人形劇は10人がかりでやると仕上げる。だから、すさまじい団結力が常に要求される。目指すは「人を喜ばせる公演」することだ。



そんな彼らの公演は好評。口コミでどんどん広まり、毎年公演依頼がくる。今回の5月公演は、5月31日の13時から、甲東園にあるお店「イサラ」で行われる。「ジャックと豆の木」と名付けられた、オリジナルの新作も披露される。足を運んでみてはどうだろうか?

最後に、西山さんに「この活動の魅力は?」と聞いてみると、「魅力ね」。人形を使えば動物にもなれる。なかなかできないことですよ」と目をきらきらと輝かしながら答えてくれた。「今後は学生向けの話にもチャレンジして、学祭でも公演したい」。笑顔の絶えない西山さんがみせた、真剣なまなざしが印象的だった。

このスペースで、**関学生への広告は、関学生にPRを。**

- 発行回数は年6回。発行部数は6,000~8,000部です。
- 長期休暇前や、新入生・受験生に配布する号を狙っての掲載も可能です。

お問い合わせは、
〒662-0891 西宮市上ヶ原1-1-155
新学生会館3F
関西学院大学新聞総部まで
(詳しい資料をお送りします)
TEL・FAX 0798-51-1181
メール: kqpress@kwangaku.net

広告料
4,500円~

大龍門

中国家庭小皿料理

北口で評判!!
安くておいしい
中華料理のお店

- ☆宴会30人まで。コンパに最適。
- ☆予算は御相談に応じます。
- ☆フリードリンク有り。

西宮北口 南東出口降りてスグ
住所: 西宮市高松町11-10 シャトレ西宮1F
TEL: 0798-66-5838
FAX: 0798-66-5843

新入生も大興奮!! ファイターズ完勝

Let's go to the Stadium

アメリカンフットボール部毎年恒例の、新入生歓迎イベント「Let's go to the Stadium」が4月27日、今年王子スタジアムに日本大学フェニックスを迎えて行われた。西宮スタジアムの閉鎖にもない、今年からは秋に行われるリーグ戦と共に、王子スタジアムで行われることになったこの新入生に向けてのイベントは、この試合では1ブレイクのたびに、そのブレイクの解説があるという親切さがあった。



試合を通じてベースを握り続けた関学大

「アメリカンフットボール部」と語り、初めて観戦するアメフトに興味しきりの様子だった。昨年リーグ最終戦で立命館大に敗戦し、甲子園ボウル出場を逃した。14-48と力の差を痛感させられた結果だけに、今季はどれだけその差を埋めることができるかに期待がかかる。この日の試合を見た限りでは、その期待は膨らまざるを得ない。しかし、試合後の鳥内監督は「今は体を大きくする段階。もっとパワーをつけたい」と、立命大に対抗するレベルまで上げたい」と浮かれる様子もなく、むしろ気を引き締めて今年立命大を倒して王座を奪回することはできるのか、今後その動向に注目したいところだ。

教授の背中

田和正孝

文学部 教授



「地理好き少年の成れの果てですわ」、今の自分を見て一言「語る。小学生の時、本屋の友達がよく城の絵を描いていた。それを見た田和少年。思わず自分も描いてみたくなった。「田和城」と名付けた空想の城。これが田和先生の原点である。

中学生になると、暇を見つけては城下町や城にかけていった。城を見たいがために中国地方を一周したこともある。「じいさんいっしょ？変な子供だったわ」と苦しい。「特に石垣を見るのが楽しかった。石垣も季節や時間によって表情を変える。そこに面白さを感じていた」と。田和少年は、いつか「城下町少年」と呼ばれるようになった。

昭和47年、関西学院大学法学部に入学。「男なら法、経、商学部。しかも法学部ならツブシがきくだろう」と考えていた。しかし、入学してから、何か物足りなさを感じる。「やっぱり地理学を学びたかった。城下町のことを研究できるしね」

3年生になり、国際法を専攻する小川芳彦先生のゼミへ。「国際法には歴史や地理の観点も必要だ」。小川先生の言葉に出会ったとき、非常に感激し

たのを忘れられないという。アバルトヘイトや海洋法の研究を通して、地理学に対する思いは更に強まった。そして、4年生の6月、文学部大学院への進学を決意する。そんな田和青年を見た小川先生は、文学部史学科地理学専修の大島襄二先生を紹介する。

しかし、いざ大学院に進学すると、不安がこみ上げてきた。「周りの友達は就職活動をしている。ほんまにこんな事をしていいの？」。悩んだあげく小川先生に相談した。「先生、とっぴな銀行をいくつか受けてみようと思えます。すると『そんなことをしていたら、結局何も成就しない』と優しく、穏やかに返された。大学院進学を決定付ける出来事だった。9月から、大島先生の配慮のもと、地理学専修の3年生ゼミに入れてもらい、必死に地理学を勉強した。

大学院進学後は漁業地理学に興味を持ちはじめた。そのきっかけは、大島先生の五島列島へのフィールドワークに同行したこと。漁業地理学の第一人者である大島先生の指導を受けたことで、城下町を扱う歴史地理学ではなく、漁業地理学を専攻するようになった。

最近では毎年積極的に海外でフィールドワークを行っている。フィールドワークなしに田和先生を語ることはできない。一番の思い出は、マラッカ海峡で

「営利目的というよりもファンへのアピール」と担当者には語る。これまでのファイターズグッズは男性向けのものが中心だった。女性ファンも

「楽しんでるものを、という指摘はチーム内にもあった。「ファイターズキティ」の企画は当初から支持したのも、やはり女性スタッフが中心だったという。また、この企画には、

世界初 ファイターズキティ 発売

3月24日卒業式に合わせて「ファイターズキティ」の企画が生協購買部に並んだ。「ハローキティ」のアメフトグッズが出るのはこれが世界初。現在販売しているのは600円のシャープペンシルとボールペン、900円のストラップの3種類。今後の売れ行きによっては、ぬいぐるみやプラチオールの発売も有り得るといふ。これは生協の他にもOB向けのホームページ (<http://www.kgfighters.com/>)、ファイターズの試合会場、各アメフトショップなどでも販売されている。また、秋のシーズンにはサンリオオショップの店頭にも並ぶ。

現在までの売れ行きは好調



今回発売されたグッズ

「アメフトをもっとたくさんの人に知ってほしいという思いも込められている。ファイターズキティの発売は、各大学のアメフトチームに刺激を与えたいに違いない。これから次々とアメフト版ハローキティが増えてくるだろう。その中で、「ファイターズキティ」はどのような位置を占めていくのか。グッズとしての積極的なアピールはちろんのこと、ファイターズの活躍が今後大きなポイントとなるだろう。

たわ・まさたか
1954年 兵庫県伊丹市生まれ
1981年 本学文学研究科博士課程単位取得退学
専攻は 漁業地理学、生態地理学

土曜特売
半額の半額!
メニコン
メニコンソフト \$5,500
メニコンZ \$7,250
先着にもれた方も、ソフトS1枚 ¥8,800
メニコンZ1枚 ¥11,000

使い捨てコンタクト 大特価!
2WEEK 1DAY
Medalist 1DAY ACULINE
\$3,900 \$3,600
\$1,900 \$1,980

乱用・盗用 取扱中!!
元東京078-334-7701
神戸市中央区元町通2-8-14
HORTENSIA 7F (1F-2F)
Eメール078-327-0720

年中無休 営業時間/11:00~20:00 全国53店舗でサポート!

瞳 イキイキ 中央コンタクト

コンタクトレンズは医療器具です。眼科医の処方によりお求め下さい。眼科医の診察には健康保険証が必要です。

新入部員募集中!

みんなで力を合わせて何か作りたい人 募集!

関西学院大学新聞 K.G. PRESS

(連絡先) 上ヶ原キャンパス新学生会館3F
Tel/Fax 0798-51-1181
E-mail kgpress@kwangaku.net

庶民派法律家を目指して

元ダイエー店長

吉本里美 (法1)

本年度より法学部で実施されたAO入試で、社会人枠の合格者の一人である、元ダイエー長田店店長の吉本里美さんが、学生として新たな一歩を踏み出した。

吉本さんが大学受験を意識することになったきっかけは阪神大震災での被災時の体験にさかのぼる。

当時、吉本さんは長田店で店長をしていた。非常時のさなか、何とか集まった従業員と協力し店内の水、缶詰などを

折からの司法制度改革による法曹人口の増強やそれに伴うロースクールの設置のニュースを知る。吉本さんはこの制度で自分も法律家としての道を切り開いてゆくことを決意し、本学法学部のAO入試に臨み、見事合格した。受験準備中も、新たな世界へ一歩を踏み出す父親を子供たちも温かく支えてくれたという。

震災翌年には全国のダイエーで経常利益No.1、その後勤先の徳島店で、ダイエーホークス優勝セールでも売り上げ日本一を達成した吉本さん。「どうやって商品が売れるかなどを、店長と現場の従業員とがコミュニケーションをとって、工夫することが大事」と語る。そうして対等な社員同士の関係をつくり、従



業員からも公私限らずいろいろな相談を受けたこともあったという吉本さんは、その時のように周囲の人々から頼られ、何でも話してもらえれば民派の法律家を目指したいと話す。

大学生になってみて、受験

K.G. PEOPLE

今、輝く学生たち

関学期待のアスリート

陸上競技部

寺田 恵 (商1)

インターハイ、国体等数々の試合を経験し、今年三月に行われた福岡国際クロスカントリイでは2位と好成績をあげ、めきめき頭角を現してきた期待の星、寺田恵さん(商1)の素顔に迫る。



寺田さんはいつもどれくらい練習しているのですか。

月曜日と金曜日が休みで、土・日曜日に試合が入るかな。普段は2時間練習しています。

高校と大学ではどういったところが違っていると思いますか。

高校では監督に皆が従い引っ張ってもらっていた感じがな。それに練習面だけでなくメンタルな面でも規則正しい生活リズムや挨拶までね。もちろん先輩を尊敬しているし、皆と一緒に練習することで一人では学べないことができたと思います。大学では特に皆が同じことをしているという点ではなくて、もちろんたくさんさんのことを教わっているけど、個人で自主的にすすんでやっているという点では高校と違いますね。それ

私がやっているクロスカントリイは、高校までは3000mなんですけど大学からは5000mに変わっているのですね。これまでに持久力が要求されているんです。走ることが嫌になることはありませんか。

確かに練習がつらくて逃げ

ほとんど走るのが好きみたいですね。では次の質問に行きます。大会までの最終調整としてやはり食事制限は大事だと思つていますが、今すぐ食べたいものはありますか。

アスリートは食事制限に気がつかないといけないんですけど、毎日規則正しく三食をとることは大事で、その分練習中に燃焼するから大丈夫で

私は中学から陸上を始めたんですけど、もししてないかならとくにも何もしないかならと思うんですけど、私自身は外運動オンチなんです。普通生活を送っていたんですけど、毎日規則正しく三食をとることは大事で、その分練習中に燃焼するから大丈夫で

私は今左足を怪我しているの、それを早く治すために調整しているところです。それ以前、世界大会への切符を手にしたものの世界情勢がよくならなかったため実現しなかったで、大学4年間で一度一度世界の舞台に立てることができるよう練習に取り組みたいと考えています。そうですね。これから大変

~世界の端っ子~ WORLD WALKER ~世界の端っ子~

だと思いが頑張りすぎていたことですが、今日は何かがとぎやりました。

以上インタビューにに応じてくれた寺田恵さんは、7月3日から開催される日本インカレに照準を合わせているのだという。怪我をしているのが多少心配ではあるが、持ち前の明るさと真面目な姿勢を兼ね備えた彼女なら、きっと皆の期待にこたえてくれるに違いない。



児島大輔さんの作品

彼はそのプラスチックの部分を私たちが見るものに委ねる

旅へ出る。「エアポケット」

彼が写真の「うそっぽさ」は街のスナップ。けん猿湯巻く街の片隅にレンズを向け「なぜ、街の片隅なのですか?」との問いに「ネクラヤカラ」と笑いながら答える。だが次の瞬間、真面目な顔で「普通の人が見えない部分を出るから」と答えた。大学入学後、日常と自分の精神面で噛み合わない一段を見つけた。その一段が写真に感じる面白味に拍車を掛けた。ある雑誌に載っていたアンセル・アダムスの写真に「プラスチック」を感じたという。それは「ある種の恐怖」、「神聖さ」、「写真の持つ魔力」。こうして写真の魅力にますます引き込まれていく。

大学3年生終了後、休学し旅へ出る。「エアポケット」

昼下がりの教会、椅子にまどろむ陽だまりの存在をあなたは知っていますか?

3人の少年、フレイムいっぱい広がるその笑顔をあなたは見たことがありますか?

荒れた野原、取り残された公園、砂に埋もれた滑り台にあなたは出会ったことがありますか?

彼、児島大輔さんを媒介し、カメラレンズのフィルターを通してこれらの写真。あるものは失われ、あるものは生を受ける。その疑似現実の中で時間は永遠に動きを封じ、永遠に時を刻む。

初めて意識して撮った写真は街のスナップ。けん猿湯巻く街の片隅にレンズを向け「なぜ、街の片隅なのですか?」との問いに「ネクラヤカラ」と笑いながら答える。だが次の瞬間、真面目な顔で「普通の人が見えない部分を出るから」と答えた。大学入学後、日常と自分の精神面で噛み合わない一段を見つけた。その一段が写真に感じる面白味に拍車を掛けた。ある雑誌に載っていたアンセル・アダムスの写真に「プラスチック」を感じたという。それは「ある種の恐怖」、「神聖さ」、「写真の持つ魔力」。こうして写真の魅力にますます引き込まれていく。



と児島さんは旅を一言で表した。「日常からの逸脱」そして「日常へと戻る」。しかし帰還した日常は今までの感覚とは異なる。自分との接点から未見の価値観が得られるから。彼の「エアポケット」の場所はヨーロッパ。フランスのパリに始まり約6ヶ月間。カメラと共に東欧諸国を出会った人に導かれるまま行き先の明確でない旅をした。危うい日本語を話す宿屋の女性マダム・リリー。カメラを盗み、その後行方を暗まらせたセバスチャン・デュビエ。宿賃滞納と手癖の悪さを知りつつもセバスチャンを泊め続けるどこか間違った宿主。酔っ払って記憶をなくしつつも「富迫です!」を現地の人に伝承し、「なんでやねん」のツツコミを伝えた。プタペストでは興味に駆られるままホモ泉(ホモセクシャル)の温泉に浸かり竹やり日本兵魂を見せ付けた。出会った人は数知れず、巡った国は11カ国。

こんな旅を経て学んだことは「生き方は自由」ということ。日本という場所、20代前半という年齢、その他もろもろの限られた現実の中で「所属」というものから逃れるための旅は彼に他の角度から見る現実と、幅広く用意された

未来への1つの確証を与えたようであった。それは写真を撮り続けるという生き方。彼の写真には相反する2つの感覚が共存していることがある。「光」と「影」、「静」と「動」、「美」と「醜」、「リアル」と「ギャグ」。それはそんな細かな側面と強じんな側面を併せ持つ彼の内面自体が織り成すコントラストのせいなのかもしれない。そんな彼の作品と、彼に会いたいならばカフェ&ショットバー「Believe」の扉を開くことをお勧めする。関学から程近い「Believe」で彼の写真にはあなただけの「自分」はあなただけの「自分」を心待ちにしている。「うそっぽさ」の中から見つける「自分」は現実の自分よりもリアルに自分を感ぜさせてくれるに違いない。

児島さんに寄り添い、彼を見守ってきたカメラ。現在5代目に当たるCANONの「D」も彼を見つめ、彼の感性を記録し、彼の「目線」を忠実に表現してくれることである。ファインダーをのぞくその目の中で彼の個性はますます光を育み、活き活きと動き出している。

おうし座のO型、動物占い、トラの彼は、児島大輔25歳。現役関学学生(商4)。

今日はコンビニをやめて…

～関学周辺のお店へGO!～

家庭の台所

「Ho Fame」

甲東園駅前前のローソンを右奥へ進んでいくと、ガラス張りの小さな店「Ho Fame」が見えてくる。レストランとしては珍しい引き戸を開けると、木をふんだんに使った落ち着いた空間が包んでくれる。堅苦しくならず、誰もが気軽に入れるようにと、家庭の台所をイメージしたという店内の造りとメニュー。健康的な米中心のメニューがそろっている。忙しい毎日の中では「Ho Fame」に頼ってしまいがち。それに、パスタなら都会に出ればいくらでも食べられます。お米中心の手料理のよさを伝えたい」と笑顔で答えてくれたオーナー。また、米は玄米と白米が選べるなど、オーナーのこだわりが見える。そんなオーナーのオススはデリSET。日替わりのおかずとサラダ、スープ、ご飯、そして惣菜は8種類の中から選ぶことができる。デザートはかぼちゃプリンがオスマメだ。

また、不定期だがイベントが開かれることもある。例えば関学生の絵画やクラフトの個展などで、ギャラリートしても楽しむことができる。今回のイベントは6月7日、10時より17時頃まで、店頭でのお菓子の販売を予定している。オーナーのモットーは「日々楽しく仕事をして、日々お客さんに接して、満足して帰ってもらうこと」。この言葉とオーナーの笑顔から、オーナー自身が本当にこの仕事を愛している、ということが伝わってくる。もともと建築を勉強していたというオーナーは店の設計も自ら手がけ、店内を飾る小物なども集めた。料理はもちろんそのひとつひとつにオーナーの気持ちがかめられている。オーナー自身が楽しんでいるからこそ、ここに何時間でも

いたい、と感じるような雰囲気がこの店に流れているのだろう。料理の新鮮さと親しみやすさで、中高生からお年寄りまで幅広い世代に人気の「Ho Fame」。この言葉通り、「おなかすいたー」と引き戸を開ければ、温かい手料理で心も体も満足すること間違いなし。閉店は10時から、閉店は平日22時、祝日は21時まで。

Menu

- *デリSET 800円
- *デリ丼SET 750円
- *キッシュ 580円
- *キッシュト玄米ボール 780円
- *かぼちゃプリン 400円
- *かぼちゃプリンパフェ 680円



最近、ベンチャー関係の授業が増えてきているのを感じている人がいるのではないだろうか。いや、実際にベンチャー関係の授業は増えてきているのである。そもそも、ベンチャー企業とは、新しい分野で新しい活力を生み出す企業のことである。新しい分野を切り開いていくこのベンチャーというものはたしかに魅力的である。ベンチャー関係の授業を進めてきた一人である、土井教授は経済学部教授はこう話してくる。「ベンチャーについて学ぶのが当然ベンチャー授業ではある。しかしそれだけではなく、それを通して学生が自ら目標を見つけ出し、その途中にある障害を克服する努力をする、ベンチャー精神とでも言うべきことを学んでほしい。ベンチャー企業を起すか起さないかはともかく、今日ではどこに行っても自ら目標を見つけ出して努力していく、いわばベンチャー的思考が必要とされてきているのである」

土井教授によると、関学では、ベンチャー教育に関しては遅れをとっている。できるなら、中学レベルから経済の構造に関する知識などを教えていったほうが、後々のためになるのではないか。事実として、アメリカ・イギリスではすでに行なわれている。しかし、昨年の6月、米タイム誌の「2002年の世界のビジネスに影響を与えた若手15人」に日本人で唯一選ばれた堀主知ロバート氏の講演で、関学の中でも一気にベンチャーへの関心が高まってきているようだ。

「ベンチャー精神に必要なのは知識と感性だ。関学生には知識はある。後は感性が必要だ」と土井教授は言う。また、「社会にその感性を受け入れることのできる度量も必要だ」とも。

「失敗を恐れるな。挑戦せず機会を逃すことこそ恐れよ」と土井教授は話す。我々も失敗を恐れず、自分の目標を定め、挑戦していきたいものである。

（カワバタ）
井の中の蛙大海を知らず。されど天の高さを知る。
まわりの目に気づく勇気を持つこと。年齢を重ねるといっはそういうことです。（甲山）
サトシ、手を洗いなさい。冷蔵庫でゼリー冷やえますよ。（ハイキング）
風邪ひいて40度越えた。体調も記事もしんどかった。（風邪の神様）
500円玉貯金やつと1万貯まりました。（夢見ごっこ）
1回生が少ないのでぜひ来てほしいです。あと、編集の大きさを知りました。（ロビンソン）
初めての取材、レイアウト、面白かったです☆新入生もって来て〜！（ゆ）

懐かしの駄菓子屋さん

午後3時30分。にぎやかな声を連れて小学6年生の男の子たちが4、5人そのお店にやってくる。そして真っ先にくじを引く。いつもくじ運が良いのはセザキ君。歓声と愚痴が店内を包む。それを見守るのは「神戸屋パン宝屋商店」のおじさん。

レジカウターのいすに座るおじさんの周りでは子供たちのはしゃぎ声が飛び交う。当たりくじを引いた子がおじさんの差し出す袋にそのくじを入れた。「こうやってな、くじが当たったらみんな貯金してやるよ。そしてな、お小遣いがなくなるときにここから使うんですわ」と語るおじさん。手元にあるいくつもの袋にはそれぞれ子供たちの苗字が書かれている。どやどや、子供たちは自分専用の預金袋を持っていくらしい。

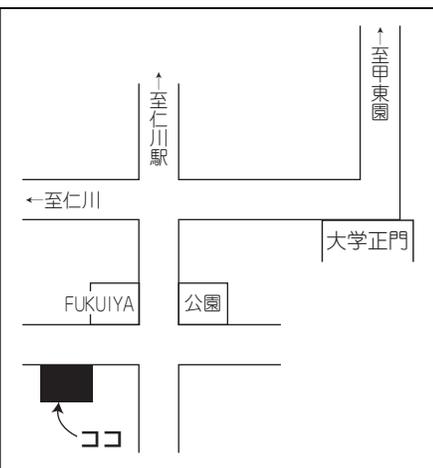
「神戸屋パン宝屋商店」は現在の位置に店を構えて30年になる。そこには「キャベツ太郎」「フライドポテト」などのスナック菓子（20円）、「プリンチョコ」「ヤッターメ」（10円）などの可愛らしいお菓子が豊富に揃えられている。また、「パイの実」3個20円など箱菓子のものをバラ売りしているため、少しづついろいろな味が楽しめる。店の一番の売れ筋は1回20円のくじだそうだ。くじのお菓子が「ヤッターメ」も負けず劣らずの人気であるらしい。少し前までは「モーニング娘。カード」も売れ筋の1つであったようだ。100円あれば、チューベツ（20円）・キャベツ太郎・プリンチョコ・ヤッターメとバラ売りのパイの実×3個とくじが1

回引ける、という盛りだくさんのメニューが楽しめる。しかも、お菓子に関して消費税はゼロ。こうすることで、子供たちにも計算がしやすく、限られた小遣いの中でできるだけ楽しめるのだ。

このように子供たちの目線に立ったお店「神戸屋パン宝屋商店」。レジカウターの裏、営業時間を示す時計の模様の時計の模様。ちょっとしたところにも子供たちへの配慮が見られる。

「子供の頃はね、ベグさし、天下町人とかして遊んだな」と昔の思い出に思い出す

駄菓子屋さんまでの地図



また、不定期だがイベントが開かれることもある。例えば関学生の絵画やクラフトの個展などで、ギャラリートしても楽しむことができる。今回のイベントは6月7日、10時より17時頃まで、店頭でのお菓子の販売を予定している。オーナーのモットーは「日々楽しく仕事をして、日々お客さんに接して、満足して帰ってもらうこと」。この言葉とオーナーの笑顔から、オーナー自身が本当にこの仕事を愛している、ということが伝わってくる。もともと建築を勉強していたというオーナーは店の設計も自ら手がけ、店内を飾る小物なども集めた。料理はもちろんそのひとつひとつにオーナーの気持ちがかめられている。オーナー自身が楽しんでいるからこそ、ここに何時間でも

いたい、と感じるような雰囲気がこの店に流れているのだろう。料理の新鮮さと親しみやすさで、中高生からお年寄りまで幅広い世代に人気の「Ho Fame」。この言葉通り、「おなかすいたー」と引き戸を開ければ、温かい手料理で心も体も満足すること間違いなし。閉店は10時から、閉店は平日22時、祝日は21時まで。

「いやなことはその日のうちに忘れる。自分でどうにもならないのにクヨクヨするのは阿呆だ。」

田中角栄

失敗した思い出、シヨックな出来事、そういうものはなかなか頭から離れてくれない。特に、若い間は、その記憶に引きずられることで自暴自棄になりがちなん頃である。また、そこまでいかななくても些細なことで心を傷つけられたり、つまらないけんかの原因で相手を逆恨みしたりしてしまふ。精神的にナイーブで、かつ脆い部分を持つのが青春時代というものだろう。

たしかに、一度起こってしまったことは元に戻せない。問題は、その失敗をどう受け止めるかによるだろう。そこでクヨクヨと思いつくなら、その場にとどまり続けるしかない。開き直ることができると、人は前に進むことができる。校歌「空の翼」にも歌われているように、我々には若い力がある。選ぶべきはどちらなのか、一目瞭然である。

しかし、だからといって都合よく忘れてしまふことができないのが人間というものである。どうしてもつらい時、僕はこの言葉を思い出すのだ。この言葉にクヨクヨしているのは阿呆、と断言されているのである。「馬鹿にするな、自分は違う」といつか奮起してしまふ。それをエネルギに前に進むことができるのだ。

皆さんにこの言葉で奮起しろ、とまで僕は言わない。ただ、クヨクヨすることで長い間立ち止まるのは損なことだと分かっています。

「ベンチャー精神に必要なのは知識と感性だ。関学生には知識はある。後は感性が必要だ」と土井教授は言う。また、「社会にその感性を受け入れることのできる度量も必要だ」とも。

「失敗を恐れるな。挑戦せず機会を逃すことこそ恐れよ」と土井教授は話す。我々も失敗を恐れず、自分の目標を定め、挑戦していきたいものである。

新聞に載せたい情報はたくさんあるのですが、人員不足などの問題ですべてを掲載することができませんでした。うーん、難しいですね。（編集☆蝶）

「ベンチャー精神に必要なのは知識と感性だ。関学生には知識はある。後は感性が必要だ」と土井教授は言う。また、「社会にその感性を受け入れることのできる度量も必要だ」とも。

「失敗を恐れるな。挑戦せず機会を逃すことこそ恐れよ」と土井教授は話す。我々も失敗を恐れず、自分の目標を定め、挑戦していきたいものである。

新聞に載せたい情報はたくさんあるのですが、人員不足などの問題ですべてを掲載することができませんでした。うーん、難しいですね。（編集☆蝶）

新聞に載せたい情報はたくさんあるのですが、人員不足などの問題ですべてを掲載することができませんでした。うーん、難しいですね。（編集☆蝶）

新聞に載せたい情報はたくさんあるのですが、人員不足などの問題ですべてを掲載することができませんでした。うーん、難しいですね。（編集☆蝶）

新聞に載せたい情報はたくさんあるのですが、人員不足などの問題ですべてを掲載することができませんでした。うーん、難しいですね。（編集☆蝶）

新聞に載せたい情報はたくさんあるのですが、人員不足などの問題ですべてを掲載することができませんでした。うーん、難しいですね。（編集☆蝶）

編集後記

パンダにお世話になりました。（もっちゃん）
巨人の木佐貫の打れたときの表情が好きです。（阪神電車）
井の中の蛙大海を知らず。されど天の高さを知る。（カワバタ）
まわりの目に気づく勇気を持つこと。年齢を重ねるといっはそういうことです。（甲山）
サトシ、手を洗いなさい。冷蔵庫でゼリー冷やえますよ。（ハイキング）
風邪ひいて40度越えた。体調も記事もしんどかった。（風邪の神様）
500円玉貯金やつと1万貯まりました。（夢見ごっこ）
1回生が少ないのでぜひ来てほしいです。あと、編集の大きさを知りました。（ロビンソン）
初めての取材、レイアウト、面白かったです☆新入生もって来て〜！（ゆ）

お知らせ

関学新聞への御意見・御感想をお聞かせ下さい。みなさんの「声」をお待ちしています。
メール: kgpress@kwangaku.net
↑アドレス変わりました!
TEL・FAX 0798-51-1181

関学のラガールカード第4弾発売!

本学OBが版画で



関学の風景画が描かれた阪急電鉄のラガールカードが発売された。4月27日から甲東園や西宮北口のほか梅田、三宮、河原町など主要各駅の券売機で売られている。関学をモチーフにしたラガールカードは今回で4作目。昨年は時計台の写真を使用したカード3種類が製作されたが、今回は本学OBの川西祐三郎さん

の版画を使用している。川西さんは有名な版画家の父親を持ち、昭和22年に関学の旧制大学商経学部経済学科を卒業。在学中は版画部に所属し、その画力を生かして関学を描いた自分の作品をクリスマスカードやレポート用紙の表紙に使ってほしいと大学の生協に持ち込んだこともあった。そして今では国内外を問わず、版画家として活躍している。

このカード制作に携わった総務部校友課主事の宮本敬士さんは、以前他大学のラガールカードが券売機で売られているのを見かけ、阪急電鉄に問い合わせた。そして券売機で販売することで広く一般の人々の目に留まることを決めた。今回は世界的にも著名な版画家川西さんが学生



なかにし てつお

1974年 奈良県生まれ
1998年 文学部(旧)哲学科卒
2002年 吉本興業の所属芸人になる

自分の可能性を信じるのが大事!

「笑い飯が目指したものは、笑い飯はボケとボケ。普通で考えれば、漫才として成り立たないはずだ。ボケとツッコミが、漫才のあが、彼らはそれを可能にした。」

若手漫才師が集う去年の『M-1グランプリ』では最終決戦まで残ったものの、惜しくも3位。そこで初めて笑

漫才師 中西哲夫さん(笑い飯)

OBインタビュー

関学での思い出

「大学時代の友達がたくさんいますよ」と言う中西さんだが、入学当初は学校になじめず友達も少なかった。そのせいか最初は、関学はなんでもおもしろくない大学なんだろうと不満を感じていた。しかし、生活の中で発見し目を向けることで、次第に解消されていく。

関学での出会い

初めてお笑いに目覚めたのは高校生のときだが、それからというものの多くの出会いを経験し、友達とのかわりの中で徐々にそれを実感していった。初めて人前で漫才を披露したのが、大学1年生のとき。笑いが、この時は全くうけず笑いはゼロ、出来栄も最低だった。しかし、そんな経験が彼の笑いへの情熱をさらに高めていく。友人と二人で芸人育成サークルを立ち上げよ

お笑いを仕事に

4年生になって、周りが就職活動をしているときも不安はなく、自分はおもしろいやつはない、とその決意を揺るぎはない。卒業後、吉本興業所属の芸人を目指す。しかし、強い信念とは裏腹に売れないうフリーの時代が続く。友人のつてを頼って舞台に出たりと、やはり現実はずななかった。相方も3人変わった。本当の笑いとは何か、日々それを追求していく中、4人目の相方である西田幸治

関学生へのメッセージ

「将来のことが不安で悩んでいる人は多いと思います。就職は一つの経験だと思います。それで一生が決まるというわけではないです。どうしようも困っているという人には、吉本のオーディションを受けることをお勧めします。あと学食を食べるときは、(パパママママいいけど)ロビンフッドにも行ってください。」



「太陽の瞳」

尾崎 豊

若いというのは、実に可能性に満ち溢れている。どんな人生を送ればいいのか、なんて考えるのは2の次で、いろいろなことに挑戦できる時間がある。何かにつかかって砕けてもまたやり直せばいい。そして、たくさん道を目の前にして、私たちはまたたくさん目のことも悩むだろう。

尾崎豊は十代の代弁者であると言われ、若者のカリスマ的存在だった。詞は切なくて、どこまでも寂しい。「卒業」「十五の夜」「シエラ」などは代表作として有名だが、彼の遺作のアルバム「放熱への証」の「太陽の瞳」という曲を紹介したい。

(籠の中に閉じ込められている。夢も現実も消えてしまえばいい。僕はたった一人だ

見知らぬ人が僕の知らない僕を見ていて、少し重い雰囲気が漂うが、飾らない言葉で表現がストリートだ。希望は誰しもが持っているものだ、尾崎豊はあえてそれを歌わず、詞に前向きな言葉はない。かといって絶望的な歌ではない。しがらみもがいていて、そこから抜け出そうとしているけれど、答えが見つかからないような感じがする。まるで彼の心境を描いたようにみえる。「人の生き方にまで責任なんてとれないから、明るい歌なんて歌えない」と言う彼だが、内面的なものをさらけ出したつとも、やはり歌うべき対象は、外に表れている気がする。(僕はたった一人だ。僕は僕と戦うんだ。僕の知らない僕

世間に矛盾を感じても、結局は今の自分と向き合っていくかなければならない、という彼のスタンス。「走る」というのは同じところにはないというところで、人生は、もちろん走り続けていくこと」と、彼はあるインタビューで答えていた。この歌もきっとその途中で作られたものかもしれない。

少し前の話になるが、4月25日は彼の命日であり、今年で12回忌を迎えた。時代は変わっても、人を好きになる気持ちや弱さは変わることはないだろう。もし、何かに悩んでいるなら、彼の曲を聴いてみてはどうだろうか。彼なりのヒントを与えてくれるかもしれない。

関学・神戸三田キャンパスから
一番近い AUTOMOBILE SCHOOL

授業のあいだに
★ ★ ★ ★ ★
楽々教習!



大学生協
サービスカウンターにて受け付け

お問い合わせは
お気軽にお電話で

TEL三田(0795)
62-2995(代)

大型科・普通科(MT・AT)・大型二輪科
普通二輪科(小型限定)・審査科(普通・自動二輪)



公安委員会指定技能試験免除
三田自動車学院